

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	回路システム基礎論		
英文授業科目名	Fundamentals of Circuit System		
開講年度	2008年度	開講年次	
開講学期	前学期	開講コース・課程	博士前期課程
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-電子工学専攻-基礎科目		
開講学科・専攻	電子工学専攻		
担当教官名	鎌倉 友男		
居室	西2-506		

公開E-Mail	授業関連Webページ
kamakura@ee.uec.ac.jp	http://ew3.ee.uec.ac.jp/

【主題および達成目標】

主題：アナログにしてもデジタルにしても、回路解析や回路合成は電子工学の基盤科目である。本講義は、特に信号、システム、各種変換の基礎を復習するとともに、それらの関係を統一的に講義するもので、いままでの学習内容を整理する意味からも価値がある。

達成目標：電気回路の基本は既習ということを前提に、その考えをシステムの解析や設計に適用し、システム構築への応用力を身につける。

【前もって履修しておくべき科目】

学部で受講した電気回路、及び代数、微分方程式。なお、ラプラス変換について、その数学的基礎を復習しておくが良い。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

電気回路の考え方等の基礎を修得しておくこと。

【教科書等】

本講義は、基本的には

C. L. Phillips and J. M. Parr, Signals, Systems, and Transforms (Prentice Hall International, Inc., 1999) に沿って講義する。その内容（英文）をPPTとして講義し、必要に応じて資料を配付する。PPTは本研究室のWEBに掲載する。

【授業内容とその進め方】

講義に併せて、ほぼ毎週 10～15分程度の演習を行う。その提出をもって出席点とする。

電気通信大学 平成20年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

成績は、基本的には期末試験80%、出席点20%とし、その合計点で成績評価を行う。また、60点以上を合格とする。

【オフィスアワー：授業相談】

特に指定しないが、相談がある場合は、メールや電話で前もって連絡すること。

【学生へのメッセージ】

なし

【その他】

なし